

在日難民に関するシンポジウム

新たな難民受け入れと新宿区

～第三国定住開始にあたって私たちにできることを考える～

日 時：2011年 **1月22日**（土）
14：00～17：00（受付開始13：30）

場 所：早稲田大学 早稲田キャンパス 8号館 B102教室

プログラム：1. 開会挨拶

外川 隆 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター 事務長

2. 米国視察報告

「米国における官民協働による難民の定住支援」
小林 普子 NPO法人みんなのおうち 理事

3. パネルディスカッション

「地域における難民受け入れのあり方」
川村千鶴子 大東文化大学 環境創造学部 教授
月橋 達夫 新宿区 地域文化部 文化観光国際課 多文化共生担当副参事
渡邊 彰悟 全国難民弁護士連絡会議 事務局長・弁護士
ビルマ難民 新宿区在住者又は在勤者

モデレーター：


石川 えり 難民支援協会 事務局長

※プログラム及びパネリストは変更になる場合があります。

定 員：280名（申込先着順）

参 加 費：無料

主 催： **難民支援協会**

共 催： 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）

助 成：新宿区・ 国際交流基金日米センター

後 援：移民政策学会

外国人が人口の1割を占める新宿区には、祖国での迫害から逃れてきた難民も暮らしています。2010年秋には、アジアで初の試みとなる「第三国定住」制度による難民受け入れが始まり、3年間で約90人のミャンマー(ビルマ)難民が日本に定住します。

本シンポジウムは、米国視察報告を通じて、米国における難民の定住支援の取り組みをご紹介しますとともに、難民、地方自治体職員、弁護士、研究者、NGOスタッフなどの様々な関係者が参加するパネルディスカッションを通じて、地域における難民受け入れのあり方を考えます。

どなたでもご参加いただけますので、是非奮ってご参加ください。

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC) について

「教育」「研究」に加え「社会貢献」を使命に掲げる早稲田大学の附属機関として2002年に設立。以来、「大学と社会をつなげる」「体験的に学ぶ機会を提供する」「学生が社会に貢献することを応援する」の3つを理念に、正課科目(2010年度18科目開講)と課外のボランティアプロジェクト(同33プロジェクト)の両方で学生に社会貢献活動の機会を提供してきた。プロジェクトでは、難民交流プロジェクトも展開中。ホームページ: www.waseda.jp/wavoc

認定NPO法人 難民支援協会について

難民支援協会は、日本に来た難民を総合的に支援する専門機関として、1999年に設立され、これまでに約2,500人の難民を支援してきました。住居、就労、医療など日々の生活に関する支援から、難民認定申請手続きなどの法的支援まで、難民一人ひとりのニーズに応じた支援を行っています。また、シンポジウムやセミナーなどを開催し、難民に対する市民の理解を高めたり、よりよい難民保護制度を目指して政策提言を行っています。ホームページ: www.refugee.or.jp/



会場へのアクセス



早稲田大学 早稲田キャンパス 8号館 地下1階「B102教室」

東京都新宿区西早稲田1-6-1
TEL 03-3203-4141(代表)

- 地下鉄東京メトロ
東西線「早稲田」駅より徒歩5分
副都心線「西早稲田」駅より徒歩17分
- JR山手線・西武新宿線
「高田馬場」駅より徒歩20分
- 都電荒川線
「早稲田」駅より徒歩5分
- 都バス
高田馬場駅 → 早大正門
新宿駅西口 → 早稲田
渋谷駅 → 早大正門
上野広小路 → 早稲田

お申し込み方法

下記事項をご記入の上、**1月19日(水)までに**、Eメール又はFAXにてお申し込みください。定員280名に達し次第、締め切りとさせていただきます。

Email: seminar10@refugee.or.jp FAX: 03-5379-6002

お名前		ご所属・お役職	
ご連絡先		Email	